



愛称は「香陵アリーナ」

「香陵」とは香貫山を指し、市民にとっては、ここに学び舎を設け、井上靖をはじめとする数多くの人材を輩出した旧制沼津中学(現沼津東高校)の通称でもあります。また、この場所が皆様の屋外スポーツの拠点「香陵グラウンド」として、長らく親しまれてきたことから、総合体育館を「香陵アリーナ」と名付けました。

香陵アリーナが、多くの市民の方に末永く親しまれるとともに、この体育館からオリンピックなど多くの人材が輩出されることを願っています。

沼津市長 頼重秀一

こんな思いのある体育館です！

スポーツへの様々な関わり方ができる体育館

「する・観る・支える」といった様々な視点から、市民のみなさんがスポーツに親しむことができる体育館です。



日々の練習や大会だけでなく、日常的な健康づくりの場としてもご利用いただけるほか、スポーツを気軽に始めるきっかけとなるような様々な教室を開催します。



プロスポーツの試合などの観戦ができます。また、ロビーや体育館の外から中の様子を見ることができ、視覚的にスポーツに親しむことができます。



各競技の指導者やプロスポーツの試合のボランティアスタッフなど、スポーツを支える人材の育成や確保について、教室の開催などを通じて支援します。

沼津市総合体育館、ついに始動。

新たな体育館が
あなたを待っています

市民体育館は、昭和48年に建設されて以降、本市の屋内スポーツの拠点機能を担うとともに、市民のみなさんにとってコミュニケーションづくり等の交流の場として長い間親しまれてきました。近年は、健康志向の高まりもあり、スポーツに対するニーズは多様化しています。そのようなみなさんの声に応えるため、市は、市民体育館・香陵武道場・勤労者体育センターの各機能を統合した「沼津市総合体育館」を令和5年3月1日に開館しました。この新たな施設は、従来の施設の機能を引き継ぐだけでなく、周辺にある狩野川や沼津アルプス等の地域の宝を活用し、隣接する文化センターとともに多くの人が集まり、賑わうことで中心市街地の活性化を図っていきます。

今回の特集では、新たな体育館の施設内容を紹介しますとともに、気軽に立ち寄り過ぎることのできる「憩いの場」としての、今までの体育館とはひと味違う使い方も紹介します。